

平成 29 年度総務省行政事業レビュー公開プロセス 評価結果

「Ｊアラートによる緊急情報の伝達体制の強化」

1. 評価結果「事業内容の一部改善」

内訳：廃止	0 名
事業全体の抜本的な改善	0 名
事業内容の一部改善	5 名
現状通り	1 名

2. 取りまとめコメント

当該選択の理由・根拠及び事業の見直しの方向性など

- ・ Ｊアラートは運用段階に入っており、確実に機能しているかどうかを表す成果指標を使って、運用の質向上を図るべき。
- ・ 市町村の末端伝達の多重化率も指標とすべき。
- ・ ストレスチェックという観点からリスク組み合わせを変えながらの訓練を拡充し、不具合についてフィードバックして改善率を指標として使うべき。
- ・ 実際の人々の行動に関する調査分析が必要。
- ・ 省庁横断的な連携、省庁をまたがった効果検証が必要である。